

2026 年度事業計画

公益社団法人日本スカッシュ協会は、日本のスカッシュ競技の統括団体として下記の事業を各委員会において展開します。

- (1) スカッシュ競技の普及に関する事業
- (2) スカッシュ競技の競技力向上に関する事業
- (3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業
- (4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

■公益社団法人日本スカッシュ協会主催大会(予定)

スカッシュアジアカップ-Japan 2026

日程 2026年(令和8年)5月14日～17日

会場 金城ふ頭アリーナ

第37回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会

日程 2026年(令和8年)5月30日～31日

会場 Greetings Squash Yokohama

第37回ジャパンジュニアオープン 2026

日程 2026年(令和8年)8月19日～23日

会場 Greetings Squash Yokohama
Squash Magic Academy Squash&Golf

第55回全日本スカッシュ選手権大会<令和8年度スポーツ振興基金助成申請事業>

日程 2026年(令和8年)11月19日～23日(予定)

会場 Greetings Squash Yokohama・トレッサ横浜

京都市長杯ワールドマスターズ関西 2027 プレ大会及び第 32 回マスターズカーニバル

日程 2026年(令和8年)12月18日～20日

会場 StandOut KYOTO・テルサ京都フィットネスクラブ

JSA ジュニアチャレンジカップ2026

日程 2026年(令和8年)12月26日～27日(予定)

会場 Squash Magic Academy Squash&Golf

JOC ジュニアオリンピックカップ第31回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会

※冠は予定

日程 2027年(令和9年)3月26日～28日

会場 Greetings Squash Yokohama

■専門委員会活動計画

【マーケティング委員会】

マーケティング部門

- 「JSA パートナーシッププログラム」の推進による協賛企業の獲得
- セールスシート等マーケティング資料の整理
- JOC マーケティング担当との連携

広報部門

- 協会広報活動の統括
- コンテンツマーケティングによるスカッシュ競技のブランディング
- 広報機関誌「SQUASH」の発行(年2回予定)
＜令和8年度日本スポーツ振興くじ助成事業＞
- メディアとの連携強化及び対応
- JOC 広報担当との連携

【選手強化委員会】

選手強化部門

次の3つを活動の柱として取り組んでいく

- 2026年度での成果の獲得
- LA28に向けた強化活動
- LA28以降の世界で戦えるチーム作りに向けた活動(次世代アスリートの育成強化)

代表チーム派遣及び国内強化活動(予定)

<代表チーム派遣>

—シニア部門—

- スカッシュアジアカップ-Japan 2026/愛知・名古屋
- 第23回アジア選手権団体戦/パキスタン・イスラマバード
- 第3回アジアダブルス選手権/マレーシア・クチン
- 第20回アジア・アジアパラ競技大会(2026/愛知・名古屋)/愛知県
- WSF 世界選手権団体戦2026(男女別団体戦)/韓国・清州市
- PSA ツアーサポート(年間9回を予定)
- ナショナルチーム海外合宿

—ジュニア部門—

- 第33回アジアジュニア個人戦/開催地調整中
- 第17回東アジア選手権/マカオ(ジュニアチームでの参加を予定)
- WSF 世界ジュニア個人戦・団体戦/カナダ・オンタリオ
- 第23回アジアジュニア団体戦/タイ・バンコク
- ペナンジュニアオープン/マレーシア・ペナン(予定)
- 香港ジュニアオープン/香港
- ブリティッシュジュニアオープン/イギリス・バーミンガム
- ジュニアナショナルチーム海外合宿(2回を予定)

コーチング部会

- 公認コーチ及び普及トレーナー資格取得のための講習会の開催及びテキストの更新
- コーチングワークショップの開催
- HP や公式 YouTube 及び SNS 等を利用したコーチングに関連する情報の発信
- 公認コーチレベル2コースの新設

【競技委員会】

- 公認大会の認定及びランキングの更新
- 公認大会運営マニュアルの適正運用と見直し
- 開催を予定している全日本選手権、その他ジュニア大会、公認大会主催者と協会にて情報収集や検討と協議を重ねる

【レフリー委員会】

- レフリー委員会ミーティングの定期開催
- 2026年愛知・名古屋アジア競技大会に向けてのレフリー育成活動
- オンラインを利用したウェビナー形式の講習会・討論会の開催
- リアルでのレフリーワークショップの開催
- 公認審判員認定のための講習会・試験の開催のサポート
- 学連向けの講習会の開催
- アジア選手権またはWSF世界選手権へのレフリー派遣
- 協会主催大会へのレフリー派遣
- 事務的活動として以下を行う予定
 - ・協会HP内にて、ルール変更や情報共有のための情報発信
 - ・WSOの活用に向けての準備と議論の継続
 - ・1級設置に向けての資料・カリキュラム作成

【規則公認委員会】

常務理事会メンバーおよび専門委員の各委員長会が当委員会の兼務委員となる。
各兼務委員は当委員会と協働して担当分野に関する規則の策定・改訂にあたる。

活動内容

- JOCガバナンスコードでうたわれる規程の整備と啓発を継続着手
特に、2028年ロサンゼルスオリンピック関連規則の見直しと策定
 - ・「運営規則」「肖像権およびパブリシティ権に関する規程」ほか
- 前年策定した規則を中心とした啓発活動
 - ・「処分手続規程」「倫理・コンプライアンス規程」ほか
 - ・JOC法務あるいは専門家によるセミナー開催(年3回)
- そのほか既存規程の見直し・改訂

【総務委員会】

会員募集事業と管理

- 個人会員及び団体会費の募集と登録協力の告知、併せてJSAパートナーシッププログラムの推進

- (株)アプロードの「スポーツエントリー」を使用しての、個人会員及び団体会員の登録受付と情報の管理、並びに、公認・承認大会への参加受付のサポートと、支部及び大会主催者への情報提供
- JOC、JADA 等各加盟団体との連携
- 会議体の運営
 - ・専門委員会委員長会議と常務理事会の連携、TEAMS の活用により、各委員会活動の情報共有を行う
- 各種規程類の整備
 - ・規則公認委員会の主管のもと、未制定の各種規程類について整備を推進
- 財務担当活動
 - ・公認会計士及び協会監事による会計監査の実施と理事会及び総会への報告
 - ・2025年度財務諸表の作成と、理事会及び総会での承認を得る
 - ・顧問税理士の協力を得て、消費税の納付を行う
- 2026年度の人事労務・経理入力および管理
 - * 2027年度の予算案及び事業計画案の策定及び理事会での承認
 - * 各種助成金に関する調査、申請と報告
- 公益社団法人定期報告
 - * 2025年度定期事業報告及び決算報告提出⇒2026年6月
 - * 2026年度役員改選変更届の作成と提出⇒2026年7月
 - * 2027年度事業計画案及び予算案提出⇒2027年3月

国際担当

目標:1 アジアの国としての協会の地位と運営地盤の確立を目指す

- 世界スカッシュ連盟(WSF)、アジアスカッシュ連盟(ASF)、東アジアスカッシュ連盟(EASF)をはじめとする国際連盟、関係各国協会、PSA(プロフェッショナルスカッシュ協会)と情報収集と連携強化
- WSF 及び ASF、EASF 主催の総会への出席
- ルール変更などの通達事項の国内競技者への報告
- 第20回アジア・アジパラ競技大会の準備のためのサポート
- ワールドマスターズゲームズ2027関西に向けてのサポート
- 2028ロサンゼルスオリンピックに向けてのサポート
- 国際大会における代表選手派遣手続きのサポート

アスリート部会

- 強化指定選手からの意見収集及び提案
- 委員会メンバーの増員
- エアースカッシュ等イベントへの参加や協力
- 選手の権利の保護に関する活動

アンチ・ドーピング部会

- 教育講習会を実施
- その他、講習会の規格と実施

○アンチ・ドーピングの啓蒙・周知活動

【地区支部委員会】

- 各地区支部の活動状況と課題の共有・解決策の検討
- 地区支部の意見集約と常務理事会への提言・提案
 - ・常務理事会にて協議される事案に対する、地区支部の意見集約
 - ・地区支部の意見を集約しの常務理事会への提言・提案の具申
- 地区支部における会員数拡大のための施策検討とその活動のサポート

【学連委員会】

定着化した学連との定例会議の内容精査を行い更なる関係強化をはかる
関東圏の学生とのコミュニケーションを地方にまで拡大する

- 2026年度の課題
 - ・登録料の見直しと覚書の締結
 - ・学生引継ぎ時の不備解消策
 - ・大学 OB の組織化

【科学委員会】

- 国内外の科学関連情報の収集と発信
- スカッシュに関連した科学論文に関する情報を一般化して発信
- 国内選手のゲーム分析および結果の発信

【アジア競技大会準備委員会】

- 「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会 2026」組織委員会の職員として、大会前準備及び大会期間中の運営全般を担う
- テストイベント「スカッシュアジアカップ-Japan 2026」の準備と運営全般を担う
- JSA・WSF・ASF と連携して、大会開催に向けた準備を含めた業務全般を担う
- アジア競技大会を通じて、スカッシュ全体の機運醸成のための取り組みを推進する

【WMG 関西2027準備委員会】

目標:2027年開催の「World Mates Games 2027 KANSAI」の成功に向けての準備

- 大会実行委員会(京都市)との連携を図り、大会運営方針の確定と効率的な大会準備を進める
- 大会の成功に導くために、世界スカッシュ連盟(WSF)、アジアスカッシュ連盟(ASF)をはじめとした諸団体及び関係諸国、関係機関との連携の強化
- プレ大会の開催と、効率的な大会運営のための検証・分析を実施
- 本大会開催に向けての普及・告知とスカッシュ競技の機運醸成の為の取り組みの実施